2022年度　日本結晶学会　第2回評議員会　議事概要

日時：2022年7月23日　14:00～16:40
形式：東大での対面とZoomによるオンライン会議のハイブリッド形式
出席者：足立伸一[a]，五十嵐教之[a]，井上 豪[a]，海野昌喜（庶務幹事），岡崎伸生[a]，上村みどり[a]，河野正規[a]，栗栖源嗣[a]，小島優子[a]，小松一生（監査役）[a]，清水敏之[a]，菅原洋子[a]，杉本邦久（広報幹事），杉山和正[a]，関根あき子[a]，千田俊哉[a]，千田美紀[a]，藤間祥子[a]，中川敦史（会長）[a]，中塚晃彦（編集幹事），南後恵理子[a]，西堀英治[a]，禾 晃和（会計幹事）[a]，橋爪大輔（行事幹事）[a]，濵田麻希（男女共同参画幹事），樋口芳樹[a]，宮原郁子[a]，森吉千佳子[a]，姚 関[a]，山田悠介（情報幹事），山本雅貴[a]，和田 啓[a]
委任状出席者※：植草秀裕[a]，平田邦生[a]
欠席者※：神山崇[a]，山縣ゆり子（監査役）
議長：中川敦史[a]（会長）
議事録作成者：海野昌喜（庶務幹事）
※2022年度第2回評議員会（定数30　構成員は[a]で表記）：
出席27，委任状出席2，欠席1
（五十音順、敬称略）

東京大学での対面会議とZoomによるオンライン会議併用のハイブリッド形式にて開催し、音声に問題なく議事進行に支障がないことを確認した。上記のとおり定足数に足る評議員の出席があったので、議長は定刻に開会を宣し、下記のとおり議事に入った。また、議事録署名人として禾晃和評議員が選出された。

議事

報告事項

1.　幹事報告

1-1.　庶務幹事報告　（海野庶務幹事）

2022年3月18日から2022年7月6日までの会員異動状況が報告された。2022年7月6日現在の会員数は1025（個人会員1005名、賛助会員20社）である。入会者6名の入会申込書および会費滞納者のリストをGoogle Driveで評議員に共有した。共催・協賛依頼について、12件の協賛依頼が報告された。

1-2.　会計幹事報告　（禾会計幹事）

一般会計について、2021年度の決算報告と2022年度の予算（報告済み）が説明された。会計状況が改善してきていることが報告された。また、Web選挙の導入のため予算として70万円を計上していることが説明された。

特別会計（国際会議口・西川基金口・リガクファンド口）について、AsCA2025 日本招致に向けて積み立ての開始が検討されている旨の報告があった。また、リガクファンド口から AsCA2022 への参加助成への支出が計画されていることが報告された。

1-3.　編集幹事報告　（中塚編集幹事）

発行済みの学会誌 Vol. 64 の 2 号について報告があった。また、Vol.64 の 3 号について、8 月末の発行に向けて順調に準備が進んでいる旨の報告があった。

1-4.　行事幹事報告　（橋爪行事幹事）

第 10 回対称性・群論トレーニングコースについて説明があった。また、2022～2024 年度の年会の計画について説明があった。今年度は関西学院大学で行われ、ポスター発表の間隔を広くとることや懇親会を立食ではなく着席で行う（感染状況によっては懇親会の中止もありうる）こと等が説明された。また、企画 CrSJ Keynotes の実施の報告と今後の予定について説明があった。

1-5.　情報幹事報告　（山田情報幹事）

結晶学会 HP の更新（記事の掲載、役員の更新、リンク切れへの対応）とアクセス数の分析について報告があった。

1-6.　**広報幹事報告　（杉本広報幹事）**

メール配信について報告があった。都度の依頼については「日本結晶学会ニュース」として配信している旨が報告された。また、それらの依頼は事務局を通じてなされることが確認された。

1-7.　男女共同参画推進幹事報告　（濵田男女共同参画推進幹事）

結晶学会として「女子中高生夏の学校」に参加することとその準備状況が説明された。また、男女共同参画協会連絡会の活動報告があった。さらに、評議員に対して、他学会を通じて依頼があった託児会社の情報提供の依頼があった。

2.　AsCA 関連　（小松監査役（AsCA 評議員）、禾会計幹事）

2-1.　小松監査役より AsCA、IUCr の会議予定について情報更新の報告があった。また、韓国入国にはビザが必要なことと帰国時に PCR 検査が必要なことについて説明があった。

2-2.　禾会計幹事より AsCA2022 の参加助成について、応募に必要な情報が説明された。航空運賃が高騰した場合の助成金の増額や、応募者多数の場合に人数の制限をゆるめることも提案された。被助成者は参加報告書の提出が必要だが、参加記の執筆は編集委員会からの依頼によることが説明された。

3.　日本学術会議関連　（菅原評議員）

3-1.　IUCr 分科会に関連する報告があった。IUCr 次期執行部、科学分科会委員の推薦について報告があった。さらに、Ewald 賞、Bragg 賞の推薦締め切りが 8 月 31 日であることが説明された。

3-2. 結晶学分科会関連について報告があった。IYBSSD2022（持続可能な発展ための国際基礎科学年）に関連して、7 月 29 日に学術フォーラムがハイブリッド開催されること、11 月と来年 6 月に第 2 回、第 3 回が開催されることが報告された。カーボンニュートラルに関する連絡会議に積極的に関わっていることやパンデミックと社会に関する連絡会議の状況について説明があった。また、化学委員会で、日本の科学力低迷について対応していることが報告された。

3-3. 学術会議の動向について、従来のマスタープランの見直しがあり、「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について審議事項で話し合うことが紹介された。また、第 26 期の学術会議会員候補者選考方針について、および G サイエンス学術会議について紹介された。

4. **その他**

河野評議員より IUCr2023 から、「ストロチコフ賞」が IUCr で授与することになったことが紹介された。若手の賞で 9 月末が応募締め切りの予定だったが、まだ詳細が確定しておらず、延びている旨が報告された。正式なアナウンスが出次第、積極的な応募を促された。

審議事項

1. **会員異動について**

入会 6 件は満場一致で認められた。

2. **協賛・共催等依頼について**

協賛の依頼 12 件について、満場一致で認められた。

3. **「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」の公募について**

中川会長から、表題の件についての案内があった旨が紹介され、結晶学会として提案するかを諮った。評議員会では意見が出ず、提案がある人は中川会長に 7 月末をめどにメール等で連絡をする旨が提案された。

4. **2022 年度学会賞について**

中川会長から、西川賞（該当者なし）、学術賞 2 件、進歩賞 2 件について、6 月 2 日、6 月 30 日に 2 回の学会賞選考委員会が開かれたことが報告され、受賞理由・題目とともに以下の受賞候補者が一人一人推薦され、満場一致で承認された。

学術賞：杉本　邦久　会員「放射光回折システムの高機能化と機能性材料の開発研究」
学術賞：松村　浩由　会員「光合成における炭素同化反応の構造生物学的研究」
進歩賞：廣井　慧　会員　「シンクロトロンX線全散乱法を利用した結晶・非晶混合物に対する定量的な構造解析法の開発」
進歩賞：古池　美彦　会員「概日リズムを奏でる時計タンパク質のアロステリック制御機構の解明」

なお、各賞の推薦理由書については，評議員会終了後、選考委員会で文面の修正を行い、メール審議で評議員会の承認をとることとした。

5. Web 選挙について

海野庶務幹事から、Web 選挙のシステム構築を委託する会社に対して、国際文献社と他社の比較が紹介され、経費、リスク、労力等を総合的に考えて、国際文献社に委託することと、その場合、一時パスワードによる認証はシステムに組み込まないことが提案され、満場一致で承認された。

6. AsCA の日本招致について

栗栖評議員（AsCA 副会長）から、2025 年の AsCA は日本結晶学会の中川現会長をチェアとして台湾と共同主催にし、台北で開催すること、および、国際情勢から台北での開催が困難になった場合は大阪（阪大）開催とすることが提案され、日台共催の検討に入ることが満場一致で承認された。さらに想定されるケースとして、台湾が単独で開催したいと主張した場合には日本は立候補しないこと、および、台湾が立候補しない場合は、日本開催を前向きに検討すること（なお、台湾以外が立候補した場合は、日本は立候補しないこと）が承認された。また、費用として、国際会議費の繰越金に加え、一般会計から 100 万円×3 年の積み立てを開始することが、満場一致で承認された。

7. ジャーナルコンサルティングについて

海野庶務幹事から、J-Stage ジャーナルコンサルティングへの対応について紹介があり、今後、評議員会へのメール審議で諮ることが満場一致で承認された。

8. 他学会等団体から結晶学会に賞受賞者候補推薦依頼が来た時の対応について

海野庶務幹事から、他学会からの賞受賞候補者の推薦依頼について話題提供があった。選考委員会や委員の公表について、「一般社団法人日本結晶学会 学会賞選考委員会規程」では対応に無理な部分が生じていることが話し合われた。そのため、規程の改定を含めて幹事会で話し合い、次回の評議員会に提案することとなった。

9. 次回評議員会日程について

海野庶務幹事より、次回の評議員会は 11 月 25 日（金）に年会会場で行う予定であることが告げられた。詳細は評議員にメール等で告知される。

以上